

No	変更内容	変更前	変更後	備考
7	2章 第1次吹田市文化振興基本計画の総括の「今後の課題」について (P11)	①「第3章で詳しく述べるように、気候変動、災害、人口動態、社会包摂・共生社会、文化多様性、表現の自由の保証などへの対応も、今後の課題となります。」を追記。		気候変動、災害、人口動態についての記述が第3章にない

資料1の上記項目に対する修正として、以下のように文章を修正、追加してはどうか

第3章1の「基本的な考え方」(P15)について

変更箇所	変更前	変更後
2段落目の5行目以降	文化・芸術には、新たな価値を社会に生み出すとともに、多様性を尊重し他者との相互理解を進める力があります。	文化・芸術には、新たな価値を社会に生み出すとともに、多様性を尊重し他者との相互理解を醸成する力があります。 <u>言い換えれば、文化・芸術には、その社会包摂の機能を通して共生社会の実現に資する力があります。</u>
4段目の追加	—	また本市の文化政策は、人口変動とも無関係ではありません。日本は超少子高齢化の時代を迎え、地方の衰退には著しいものがあります。その中で、本市に限ると中期的には人口減少は予測されませんが、今後、従来とは異なる文化的背景を持った住民や勤労者の増加が予想されます。その点でも、社会包摂と共生社会の推進が文化政策には求められます。
5段目の追加	—	さらに、これからの文化政策は、地球規模の気候変動とも無縁ではありません。急激な地球温暖化と、それに起因すると考えられる自然災害の増加は、貧困や紛争と同様に、文化・芸術とその活動の保護・育成にとっても障害となります。今後の文化政策には、市内の文化・芸術そのものの振興だけでなく、次世代や自然環境との共生にも配慮すべく、いわば「世界市民」「地球市民」として、未来の社会と世界に目を向ける視野の広さが求められます。